

学校と地域をむすぶ

大津市立葛川小・中学校

かけはし

地域コーディネーターだより

2014. 10. 27

NO. 4

紅葉祭

10月4日に葛川小中学校の体育館で「紅葉祭」が行われました。

今年の「紅葉祭」のスローガンは、「とにかくオモロイ～笑顔・ワクワク・楽しい～」。このスローガンにこめられた「みんなの笑顔があふれる」「ワクワクと驚きがある」「みんなが楽しむことができる」紅葉祭を成功させるために、中学校の生徒会を中心に企画が進められました。午前中は体育館での発表や展示作品鑑賞が、



そして午後からは「ふれあい活動」が行われました。朝早くから、地域の方々もたくさん来ていただき、子どもたちの発表に大きな拍手を送っていただいたり、子どもたちとふれあいながら楽しいひとときを過ごしていただいたりしました。

自分たちで考えました



保育園児の発表は、歌や手遊び歌そして劇ごっこ「ありとキリギリス」。普段、歌っている歌を聞いてもらったり、自分たちも楽しみながら「トントントン ひげじいさん・・・♪」と見ている人も楽しませてくれました。葛川バージョンの「森の音楽家」の歌



では、自分たちで作った楽器を奏でてくれました。「ありとキリギリス」は原作ではなく葛川バージョン。登場する虫さんたちやその動きも自分たちで考え、どんどんイメージをふくらませながら虫さんになりきっていきました。ありさん、キリギ

リスさん、だんごむしさん、そしててんとうむしさんの登場するごっこ劇。自慢の側転やでんぐり返りを披露しながら自分たちで作りに上げてきたものを発表してくれました。年齢差のある中で、それぞれの力をめいっぱい出した演技には、昨年から大きな成長も感じられました。

6年生中心にみんなで作る

小学生の発表は、「ジャックとチャックと豆の木」の音楽劇。おなじみの「ジャックと豆の木」の物語のアレンジバージョンです。原作のストーリー



をもとに、15人の小学生を頭に浮かべながら6年生が台本を考えました。まさに、葛川小学校のオリジナル劇です。物語をつないでいくたくさんの歌は、一学期から練習をはじめてきましたが、実際に劇の練習をはじめたのは運動

会が終わってから。わずか10日ほどで作りました。練習中には、「首かしげたほうがいい」「真ん中で言うたら?」「もっかい、さっきのそこからやってみよ」など、6年生が演出をしながらみんなをリードしてくれました。既成の台本通りにやるのではなく、自分たちで考えた台本にのっとなってやっているので、「もっとこんな雰囲気」という思いが強く表れます。配役はみんな相談して決めまし





た。やりたい役が重なりましたが、譲り合いながら役が決まりました。ご覧になったみなさまは感じられたかと思いますが、みんな適役でした。自分自身をめいっぱい出しながら役になりきりました。演じるだけではなく、幕裏で衣装替えの手伝いや小道具渡しをがんばってくれた子どももいま

す。限られたわずかの練習時間で仕上げていくのはとても大変でした。しかし、「もっとこうしたら」というアドバイスはその都度自分のものにしていき、回を重ねるごとに中身はどんどん変わっていきました。家でせりふを覚えるのをがんばりました。前日の練習では、まだもっとできるという思いを残しましたが、本番はすべての力を出し切った子どもたちでした。練習とはちがいたくさんの人たちに見ていただき、おもしろいところでは声を出して笑ってもらい、お客さんの反応に答えながら楽しんで演じることができたと思います。カーテンコールでは、たくさんの拍手を受けながら満面の笑みを浮かべる子どもたち。すべてを出し切ったという達成感が感じられました。

見えない時間が貴重な時間



男女に分かれての中学生の発表。女子は「かなこちゃんの仮装大賞」。釣った魚を焼いて食べて残った魚の骨、回転寿司で回ってくるお寿司を食べる大きな口。見せる演技に迫力を与える裏方のせりふや擬音は、短い時間でみんなの笑いをとりま

した。練習の他にも、小道具や大道具作りも放課後にがんばってきました。男子は「葛川中学校のばかっかわいい生活」。「ばかばかしく」でも「かっかわいい」のが「ばかっかわいい」。普段の学校生活におけるいろいろな「ばかっかわいい」場面を動画に作り上げて放映しました。一発で自転車のかごにペットボールが投げ入れられたり、蹴ったボールが一発でバスケットゴールに入ったりする動画に、見ている



人も「すごい～」と感動してしまいました。実はこれらのシーンを撮影するのにのべ16時間もかかったのだとか。何回もNGを出しながら何度も挑戦し、この動画が完成しました。男女ともに、今年の紅葉祭のスローガンを頭におきながら、みんなが楽

しく笑えるようなものを考え出しました。本番での発表時間はほんの短いものでしたが、ここに至るまで、みんなで話し合ったこと、準備したこと、練習したことに費やされた時間がとても貴重なものであったように思えます。

葛川ならではの良さを主張

夏に行われた「中学生広場 私の思い2014」における意見発表を出雲めぐるさんが再度この場で発表しました。葛川中学校のいいところをたくさんあげてくれました。授業でていねいに教えてもらえる、あたたかくおいしい給食を食べることができる、上下関係なくみんなが仲がいいなど。そして、一年間でとても楽しみにしている行事に「運動会」と「紅葉祭」をあげました。いずれも、保育園児・



小中学生だけでなく、地域の人たちもいっしょにふれあい、楽しむことのできる行事です。人数が少ないという問題はあるものの、これからも学校と地域の人たちがいっしょになって葛川を良くしていきたいという思いを語ってくれました。

楽しんで チャレンジして ふれあって

午後は、子どもたちと地域の方々がいっしょに楽しむことのできる「ふれあい活動」。今年は、「しゃーてき。」「ジャンプ！へビニオンさん」「お菓子コンテスト」の3つのコーナーが作られました。中学生と小学校5・6年生が一学期から話し合いを持ち、コーナーの内容を考えたり準備に取り組んだりしてきました。

「しゃーてき。」

手作りのわりばしでっぼうで点数の書かれた的をたおします。ねらったところになかなか輪ゴムが飛んでくれません。コーナー担当のお兄さんたちが、ねらうところをアドバイスしてくれたり、小さい子どもをだっこしてまをねらいやすくして



くれたりしました。また、このコーナーでは、空き缶積みも行われました。1分間でどれだけ空き缶を高く積めるか？線路を走るトーマス機関車の上に、3分間で空き缶を何個積めるか？思った以上にとても難しくて、なかなか記録をやぶれませんでした。



「ジャンプ！ヘビニオンさん」



牛乳パックを切ったものに輪ゴムをはめてヘビのように長くつなぎあわせていきます。折りたたんで押しはなすと、ジャンプ！マジックで模様を描いたり色をつけたり、動物の顔をつけたりして、オリジナルのヘビニオンさんの完成。作る楽しさと遊ぶ楽しみ

の2つを味わうことのできるコーナーでした。担当のお兄さんたちが作り方をいねいに教えてくれたり、楽しい遊び方をいろいろ見せてくれました。



「お菓子コンテスト」

いろいろな種類の市販のお菓子を使ってグループごとにお菓子の家を作っていきます。ウエハースや板チョコ、ビスケットなどがどンドン屋根や壁に変わっていきます。生クリームは接着に使ったり、トッピングの飾りに使ったり、またまた屋根に降り積もる雪になったり。それぞれのグループでアイデアを出し合い楽しみながらお菓子の家を作っていました。同じ材料でもいろいろな家に仕上がりました。審査の結果、賞が発表され、その後は全部食べてもいい



ということでみんな大喜び。しかし、大量のお菓子はなかなか食べることができませんでした。だれでも作ってみたい食べてみたい「お菓子の家」。コーナー担当の人たちの甘さにたえぬく試作・試食などの企画や準備が、そんなメルヘンの世界に導いてくれました。

発表やふれあい活動の他にも、幕間には、有志によるバンドの演奏や卒業生によるダンス、学習したことをもとにしたクイズ、先生方の合唱などもあり、盛りだくさんの一日にはたくさんの人の「笑顔」が見られました。きっとその「笑顔」は、保育園や小中学校の子どもたちの年齢を越えたつながり、そして子どもたちと地域の方々とのふれあいの輪、さらには「とにかくオモロイ～笑顔・ワクワク・楽しい～」のスローガンに向けての、生徒会・児童会による念入りな企画や準備が生み出したものだと思います。

子どもたちの発表を見ていただいたり、いっしょに楽しんでいただいたり、素晴らしい作品を出展していただいたりした地域の皆様方、ありがとうございました。

秋空のもと すてきな演奏

10月16日、久多の元小学校グラウンドにおいて、京都府警察音楽隊の演奏会があり、保育園児、小中学生でその演奏を聴きに行きました。真っ青な秋晴れの



青空と少し色づき始めたまわりの木々が、秋の音楽鑑賞会を引き立ててくれました。グラウンドにはたくさんの方々の久多のお年寄りの方々も来られており、みんな開演の時を待ちました。

演奏の前には、トロンボーンやトランペット、ク

ラリネットなどの楽器の紹介があり、どんな音が出るのか、どうやって音を出すのか、などを教えていただきました。他にも、前に座っておられる音楽隊の皆さんが持っておられる楽器は、おなじみの楽器もあれば、何だろうと思う楽器もありました。また、その横に座っておられるあざやかな緑のコスチ



ュームを来ておられる女性の方々も気になります。カラーガード隊の皆さんで、フラッグを持ってマーチングをされます。音楽隊・カラーガード隊の皆さんたちは、普段は京都府の警察官でいらっしゃいます。楽器やフラッグを持つ姿は、おまわりさんのイ



メージとは全く違いました。

いよいよ演奏が始まりました。

「born to love you」「サントア・マミー」の少し大人向けの曲、そして今大人気の「妖怪ウォッチ」のメドレー。この曲では、みんなもいっしょに振り付けしましょうということで、保育園



の子どもたちが前に出て曲に合わせて楽しく踊ってくれました。そして、これもまた子どもたちがよく知っている「クレヨンしんちゃん」の映画の主題歌「RPG」。金管楽器のパフォーマンスもあり、リズムをとったり歌を口ずさむ子どもたちもいました。

まわりの秋の景色に思わず目がいてしまいそうな秋を歌った童謡。「夕やけこやけ」「虫の声」「もみじ」「まっかだな」「村のかじや」。お年寄りの方々もなつかしように口ずさんでおられました。そして、最後は「旧友」。カラーガード隊のきびきびとしたマーチングにも目がひかれました。これで全曲終了ということでしたが、もっとたくさん聴いていたい気持ちはみんな同じ。「アンコール！アンコール！」という手拍子に、「ミッキーマウスマーチ」の演奏とカラーガード隊のパフォーマンスで答えていただきました。野外で聴いているとは思えないぐらいの迫力ある楽器の音色、そして演奏を引き立てるカラーガード隊のマ



ーチング。秋空のもと、すてきな演奏とマーチングに引き込まれながら、秋を楽しみ味わうことができました。

久多の駐在所の野々口さんからは、「犯罪を防ぐためにはいろいろな人に声をかける、あいさつをするということが大切です」というお話と、「これから行楽シーズンに入ると車が多くなるので、道を横断するときには左右をしっかりと確かめましょう」というお話がありました。

お世話になった京都府警察音楽隊とカラーガード隊のみなさん、野々口さん、そして会場準備などをしていただいた久多の皆さん、ありがとうございました。